

1. 化学品及び会社情報

【製造者情報】	【販売者情報】
会社名：IdeaPaint	会社名：アイデアプラス株式会社
住所：40 Board Street Boston, MA 02109	部署名：管理部
電話番号：+1-617-714-1050	住所：東京都江東区青海二丁目7番4号10階
	責任者名：澤田真由美
	電話番号：03-6426-0225
製品名：アイデアペイント クリエイト クリア <主剤>	
製品の種類：2液性無溶剤型エポキシ樹脂系塗料	
主な用途：屋内壁等の塗装	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性、反復ばく露	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。重篤な眼の損傷。遺伝性疾患のおそれの疑い。発がんのおそれの疑い。生殖能または胎児への悪影響のおそれ。長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。炎および加熱面から離しておくことー禁煙。ミスト/蒸気を吸入しないこと。取扱後はよく洗うこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。皮膚刺激又は発疹(疹)が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。漏出物を回収すること。火災の場合：消火するために水霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素(CO2)を使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

非常事態の概要

熱、火花または炎で発火する可能性がある。重篤な眼の損傷。長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。発がんのおそれの疑い。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に影響を与えることがある。遺伝性疾患のおそれの疑い。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
ジメチルフェニルメトキシシロキサン	68957-04-0			40-70
エポキシ樹脂, MW <= 700	30583-72-3			10-30
ビス (1,2,2,6,6-ペンタメチル-4-ピペリジル) セバケート	41556-26-7	(5)-5501	8-(1)-1709	1-5
ジブチルスズジアセタート	1067-33-0			1-5
エタノール	64-17-5	(2)-202	(2)-202	0.1-1
エチルベンゼン	100-41-4	(3)-28, (3)-60	(3)-28, (3)-60	0.1-1
キシレン	1330-20-7	(3)-3, (3)-60	(3)-3, (3)-60	0.1-1
二酸化ケイ素、結晶質シリカ非含有	7631-86-9	(1)-548	(1)-548	0, 3-1

化学式 (C₄H₆SiO)_x (68957-04-0), (C₁₅H₂₈O₂.C₃H₅ClO)_x (30583-72-3), C₁₂H₂₄-O₄-Sn (1067-33-0), C₃₀H₅₆N₂O₄ (41556-26-7), C₈-H₁₀ (100-41-4), C₈-H₁₀ (1330-20-7), C₂-H₆-O (64-17-5), O₂Si (7631-86-9)

組成情報 成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

直ちに多量の流水で15分以上眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。ただちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。長期にわたる暴露により慢性影響をうけることがある。

応急措置をする者の保護

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂)。

使ってはならない消火剤

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災時の特有の危険有害性

この製品は可燃性であり、加熱によって蒸気と空気との爆発性混合物を生成することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

火災や爆発の場合、フェームを吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

可燃性液体。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源 (近くにあるタバコ、炎、火花、火) を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト/蒸気を吸入しないこと。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。バーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切な、ふたとラベルがついた容器に入れてください。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

安全取扱い注意事項

製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。スパークしない工具や防爆器具を使う。適切な換気を行う。

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。静電気放電防止策を施す。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。当材料を目に接触させないで下さい。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避

適切な衛生対策

強酸。強酸化剤。詳細については、本SDSの項目10を参照。

あらゆる医学的監視要件を遵守すること。飲食物から遠ざける。物質の取り扱い後、および飲食および/または喫煙前に洗うなどの優良個人衛生措置を常に遵守すること。汚染された衣服を脱ぐ。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリンクラーのある場所に置く。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	管理濃度	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	管理濃度	50 ppm
添加成分	タイプ	数値
メタノール (CAS 67-56-1)	管理濃度	200 ppm
日本産業衛生学会－許容濃度成分	タイプ	数値
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	217 mg/m3 50 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	TWA	217 mg/m3 50 ppm
添加成分	タイプ	数値
メタノール (CAS 67-56-1)	TWA	260 mg/m3 200 ppm
ACGIH成分	タイプ	数値
エタノール (CAS 64-17-5)	STEL	1000 ppm
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	TWA	20 ppm
キシレン (CAS 1330-20-7)	STEL	150 ppm
	TWA	100 ppm
ジブチルスズジアセタート (CAS 1067-33-0)	STEL	0.2 mg/m3
	TWA	0.1 mg/m3
添加成分	タイプ	数値
メタノール (CAS 67-56-1)	STEL	250 ppm
	TWA	200 ppm

生物学的限界値

日本産業衛生学会－生物学的許容値成分

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
キシレン (CAS 1330-20-7)	800 mg/l	メチル馬尿酸 (o-, m-, p-) 総量	尿	*

添加成分

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
メタノール (CAS 67-56-1)	20 mg/l	メタノール	尿	*

* サンプルングの詳細については元の文書をご参照下さい。

ACGIH生物学的許容値成分

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	0.15 g/g	マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の計	尿中クレアチニン	*
キシレン (CAS 1330-20-7)	1.5 g/g	メチル馬尿酸	尿中クレアチニン	*

添加成分

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
メタノール (CAS 67-56-1)	15 mg/l	メタノール	尿	*

* サンプルングの詳細については元の文書をご参照下さい。

暴露ガイドライン

日本のJSOH 職業曝露限界：皮膚指定

メタノール (CAS 67-56-1)

皮膚から吸収される可能性がある。

米国ACGIH許容濃度：皮膚

ジブチルスズジアセタート (CAS 1067-33-0)

皮膚から吸収される可能性がある。

メタノール (CAS 67-56-1)

皮膚から吸収される可能性がある。

設備対策

十分な全般換気を使用しなければならない。換気率は諸条件に適合していなければならない。該当する場合には、行程囲壁、局所排気装置、またはその他の技術的管理を行い空中浮揚物質レベルを推奨曝露限界値未満に維持すること。曝露限界値が設定されていない場合には、空中浮遊物質レベルを許容可能なレベルに維持すること。この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるとところで扱わなければならない。

保護具

呼吸器の保護具

空気中の濃度を推奨曝露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（曝露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。飛散の危険がある場合は、フェースシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具

エプロン及び腕カバーなどの、適切な耐化学薬品性の衣服を着用すること。大量を扱う場合または緊急時には、全身防護服とブーツが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	液体。
形状	液体。
色	透明。

臭い 軽度。

pH データなし。

融点・凝固点 データなし。

沸点、初留点及び沸騰範囲 > 104.44 °C (> 220 °F)

引火点 > 87.8 °C (> 190.0 °F) 密閉式

燃焼性（固体、ガス） 該当しない。

燃焼又は爆発範囲

燃焼又は爆発範囲－下限(%) データなし。

燃焼又は爆発範囲－上限(%) データなし。

爆発下限界 (%) データなし。

爆発上限界 (%) データなし。

蒸気圧 0.2 hPa (20° C/68° F)

蒸気密度 データなし。

蒸発速度 32 (酢酸ブチル= 1)

比重 データなし。

溶解度

水溶性 水に不溶。

n-オクタノール／水分配係数 データなし。

自然発火温度（発火点） > 300 °C (> 572 °F)

分解温度	データなし。
粘度（粘性率）	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
ガロン当りポンド	9.5 lbs/gal
揮発性有機化合物	< 25 g/l (wt%)

10. 安定性及び反応性

反応性	製品はアミン及び酸無水物などのエポキシ樹脂用硬化剤と反応する。製品は過剰な硬化剤（特に脂肪族アミン）と激しく反応し、発熱する。
化学安定度	製品はアミン及び酸無水物などのエポキシ樹脂用硬化剤と反応する。
危険有害反応可能性	脂肪族アミン系硬化剤を過剰に用いると危険有害な重合が生じるおそれがある。
避けるべき条件	高温。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。強塩基（特に一級及び二級脂肪族アミン）。
危険有害な分解生成物	熱分解や燃焼で二酸化炭素や他の有毒ガス、蒸気を放出することがある。

11. 有害性情報

急性毒性 急性毒性であるとは予想されない。

成分	種	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
急性吸入蒸気		
LC50	マウス	39 g/m ³ , 4 時間
経口		
LD50	ラット	7000 - 11000 mg/kg
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		
急性吸入		
LC50	ラット	17.4 mg/l, 4 時間
経口		
LD50	ラット	3500 - 4700 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	15400 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激。	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	強い眼刺激。	
呼吸器または皮膚の感作		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。	
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い。	
発がん性	発がんのおそれの疑い。	
ACGIH発がん性物質		
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		A3 動物に対して発がん性が確認された物質（ヒトに対する発がん性との関連は未知）
キシレン (CAS 1330-20-7)		A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
ジブチルスズジアセテート (CAS 1067-33-0)		A4 ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
IARC発がん性評価モノグラフ		
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		2B ヒトに発がん性の可能性がある。
キシレン (CAS 1330-20-7)		3 ヒトへの発がん性を分類できない。
二酸化ケイ素、結晶質シリカ非含有 (CAS 7631-86-9)		3 ヒトへの発がん性を分類できない。
日本産業衛生学会 - 発がん性物質		
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		2B ヒトに発がん性の可能性がある。
生殖毒性	生殖能への悪影響のおそれ。	
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分外。	
特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。	
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。	
その他の情報	症状は遅れて出てくることがある。製品の成分は、皮膚を通じて体内に吸収される。	

12. 環境影響情報

環境影響データ 成分

成分	種	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
水生 急性 甲殻類	LC50	オオミジンコ 454 mg/l, 11 日間 ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia) 5012 mg/l, 48 時間
魚類 慢性 甲殻類	LC50 NOEC	コイ科 13480 mg/l, 96 時間 ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia) 9.6 mg/l, 10 日間
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)		
水生 急性 甲殻類	EC50	オオミジンコ 1.81 - 2.38 mg/l, 48 時間
魚類 慢性 甲殻類	LC50 LC50	ニジマス 4.2 mg/l, 96 時間 ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia) 3.6 mg/l, 7 日間

添加成分

成分	種	試験結果
メタノール (CAS 67-56-1)		
水生 急性 甲殻類	EC50	オオミジンコ > 10000 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	ブルーギル (レボミス・マクロキルス) 15400 mg/l, 96 時間

生態毒性 長期的影響により水生生物に毒性。
残留性/分解性 この製品は容易に生物分解されるとは予想されない。
生体蓄積性 体内に蓄積される可能性がある。

生体内蓄積の可能性

オクタノール/水分配係数 log Kow

IdeaPaint CREATE CLEAR THAT (Part A)	1.7 QSAR法, (20 ° C)
エタノール (CAS 64-17-5)	-0.31
エチルベンゼン (CAS 100-41-4)	3.15
ジブチルスズジアセタート (CAS 1067-33-0)	1.27

土壤中の移動性 この製品は水に溶けない。 土壤中の移動性は低いと考えられる。
オゾン層への有害性 この製品は光化学オゾン生成する可能性のある揮発性の有機化合物を含有している。
他の有害影響 この製品は光化学オゾン生成する可能性のある揮発性の有機化合物を含有している。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。 本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。 内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	
UN number	3082
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Bis(1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl) sebacate, Dibutyltin di(acetate))
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
IMDG	
UN number	3082

UN proper shipping name	Environmentally hazardous substances, liquid, n.o.s. (Bis(1,2,2,6,6-pentamethyl-4-piperidyl) sebacate, Dibutyltin di(acetate))
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary risk	-
Label(s)	9
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送国内規制	該当しない。 国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

第二類物質

エチルベンゼン

通知対象物

エタノール

別表第9 政令番号 61 0.10 - 1.0 %

キシレン

別表第9 政令番号 136 0.10 - 1.0 %

表示対象物

エタノール

0.10 - 1.0 %

エチルベンゼン

0.10 - 1.0 %

スズ及びその化合物

1.0 - 5.0 %

キシレン

0.10 - 1.0 %

変異原性が認められた既存化学物質

ジブチルスズ二酢酸

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

メタノール

キシレン

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

エチルベンゼン

メタノール

キシレン

届出不要物質

二酸化ケイ素

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

エチルベンゼン

政令番号 53

1.0 %

(エチルベンゼン)

有機スズ化合物

政令番号 239

5.0 %

(ジブチルスズジアセテート)

キシレン

政令番号 80

1.0 %

(キシレン)

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

有害性物質

航空法・施行規則

その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

高压ガス保安法

エチルベンゼン

可燃性ガス

海洋汚染防止法

エチルベンゼン

Y類

メチルアルコール

Y類

キシレン

Y類

エチルアルコール

Z類

キシレン及びエチルベンゼンの混合物(エチルベンゼンの濃度が十重量パーセント以上のものに限る.)

Y類

キシレン及びエチルベンゼンの混合物(エチルベンゼンの濃度が Y類
十重量パーセント以上のものに限る.)

大気汚染防止法

メタノール

悪臭防止法

キシレン

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示
及び安全データシート (SDS)

IdeaPaint は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。

1. 化学品及び会社情報

【製造者情報】	【販売者情報】
会社名: IdeaPaint	会社名: アイデアプラス株式会社
住所: 40 Board Street Boston, MA 02109	部署名: 管理部
	住所: 東京都江東区青海二丁目7番4号10階
電話番号: +1-617-714-1050	責任者名: 澤田真由美
	電話番号: 03-6426-0225
製品名: アイデアペイント クリエイト クリア <硬化剤>	
製品の種類: 2液性無溶剤型エポキシ樹脂系塗料	
主な用途: 屋内壁等の塗装	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分4
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1B
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
	皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体。 飲み込むと有害。 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き

安全対策

炎および加熱面から離しておくことー禁煙。 ミスト/蒸気を吸入しないこと。 取扱い後はよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 火災の場合: 消火するために水霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO2) を使用すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。 重篤な眼の損傷。 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性があります。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 発疹。 発疹。

非常事態の概要

熱、火花または炎で発火する可能性がある。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。 飲み込むと有害。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
3-アミノプロピルトリエトキシシラン	919-30-2	(2)-2061	(2)-2061	99

化学式 C9-H23-N-03-Si (919-30-2)
組成情報 成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

応急措置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。直ちに医師に連絡すること。化学やけどは医師による手当を受けなければならない。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

直ちに多量の流水で15分間以上眼を洗浄する。洗眼設備を設置する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。嘔吐させない。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。重篤な眼の損傷。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがあります。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性があります。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。飲み込むと唇、口腔、上気道、食道及び消化管に熱傷を起こすことがある。飲み込むと有害（経口）。

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。化学やけど：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者を保温する。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

一般的な火災の危険性

特定の消火方法

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2)。

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

この製品は可燃性であり、加熱によって蒸気と空気との爆発性混合物を生成することがある。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

火災や爆発の場合、フュームを吸入してはならない。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

可燃性液体。

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト／蒸気を吸入しないこと。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

下水や水路、地面への排出を避ける。

全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：土、砂またはその他の不燃性物質に吸収させて、容器に移し、後で処分する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

安全取扱い注意事項

接触回避

適切な衛生対策

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。スパークしない工具や防爆器具を使う。適切な換気を行う。

裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当たらないようにする。静電気防止策を施す。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。味を見たり飲み込んだりしてはならない。使用中は飲食や喫煙をしない。取扱い後は手をよく洗うこと。産業衛生に気を配る。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。

強酸化剤。強酸。より詳しい情報については第10項を参照。

あらゆる医学的監視要件を遵守すること。飲食物から遠ざける。物質の取り扱い後、および飲食および／または喫煙前に洗うなどの優良個人衛生措置を常に遵守すること。汚染された衣服を脱ぐ。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

施錠して保管すること。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。容器を密閉しておくこと。換気の良い場所で保管すること。スプリンクラーのある場所に置く。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

ACGIH
添加成分

エタノール (CAS 64-17-5)

タイプ

STEL

数値

1000 ppm

設備対策

十分な全般換気を使用しなければならない。換気率は諸条件に適合していなければならない。該当する場合には、行程囲壁、局所排気装置、またはその他の技術的管理を行い空中浮揚物質レベルを推奨暴露限界値未満に維持すること。暴露限界値が設定されていない場合には、空中浮遊物質レベルを許容可能なレベルに維持すること。この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるところで扱わなければならない。

保護具

呼吸器の保護具

空気中の濃度を推奨暴露限界（適用できる場所で）、または許容レベル（曝露限界が確立していない国）を工学技術管理が下回らない場合、推奨マスクを着用しなければならない。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。飛散の危険がある場合は、フェースシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具

エプロン及び腕カバーなどの、適切な耐化学薬品性の衣服を着用すること。大量を扱う場合または緊急時には、全身防護服とブーツが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体。

形状

液体。

色

無色または黄みがかった色

臭い

アミンのような。

pH

11.3 20° Cで

融点・凝固点

< -70 ° C (< -94 ° F)

沸点, 初留点及び沸騰範囲

220 ° C (428 ° F)

引火点

92.8 ° C (199.0 ° F)

燃焼性 (固体, ガス)

該当しない。

燃焼又は爆発範囲

爆発下限界 (%)

0.8 %

爆発上限界 (%)

4.5 %

蒸気圧

0.02 hPa 20° Cで

蒸気密度

データなし。

比重

データなし。

溶解度

水溶性

5.4 g/l at 20° C

n-オクタノール/水分配係数

1.7 QSAR法 (20° C)

自然発火温度 (発火点)

300 ° C (572 ° F)

分解温度

データなし。

粘度 (粘性率)

2 mPa·s DIN 53015 20° Cで

その他の情報

爆発性状

爆発物でない。

分子式

C9-H23-N-03-Si

分子量

221.42 g/mol

酸化能力

酸化性でない。

ガロン当りポンド

7.88 lbs/gal

揮発性有機化合物

< 100 g/l

10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学安定度

通常状態で安定。

危険有害反応可能性

水と反応してエタノールが遊離する。製品がエポキシ樹脂、イソシアネート、あるいはウレタンプレポリマーと混合しない限り、重合は生じない。

避けるべき条件

加熱、スパーク、裸火、その他の発火源を避ける。引火点を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤。強酸。

危険有害な分解生成物

加水分解した場合、エタノール。この物質が熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素および窒素酸化物を生成することがある。

11. 有害性情報

急性毒性

飲み込むと有害。

有害性データ

添加成分	種	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
急性		
吸入		
蒸気		
LC50	マウス	39 g/m ³ , 4 時間
経口		
LD50	ラット	7000 - 11000 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	重度の皮膚の火傷を生じる。	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	重篤な眼の損傷。	
呼吸器または皮膚の感作		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。	
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分外。	
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分外。	
吸引力呼吸器有害性	吸引力呼吸器有害性でない。	
その他の情報	症状は遅れて出てくることがある。 エタノールが放出されるおそれがある。	

12. 環境影響情報

環境影響データ 添加成分	種	試験結果
エタノール (CAS 64-17-5)		
水生		
急性		
甲殻類	LC50	オオミジンコ 454 mg/l, 11 日間 ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia) 5012 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	コイ科 13480 mg/l, 96 時間
慢性		
甲殻類	NOEC	ニセネコゼミジンコ (Ceriodaphnia dubia) 9.6 mg/l, 10 日間
生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。	
残留性/分解性		
生分解性		
パーセント分解 (好気性生物分解-易分解性)		
IdeaPaint CREATE CLEAR THIS (Part B)		67 % DOC ; 減衰試験
生体蓄積性		
生体内蓄積の可能性		
オクタノール/水分配係数 log K _{ow}		
IdeaPaint CREATE CLEAR THIS (Part B)		1.7 QSAR法, (20 ° C)
エタノール (CAS 64-17-5)		-0.31
土壤中の移動性	製品は水にわずかに溶ける。 土壤中の移動性は低いと考えられる。	
オゾン層への有害性	この製品は光化学オゾンを生じる可能性のある揮発性の有機化合物を含有している。	
他の有害影響	水と反応してエタノールを放出する。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。 空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。 本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」参照)。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA		
UN number	3267	
UN proper shipping name	Corrosive liquid, basic, organic, n.o.s. (3-Aminopropyltriethoxysilane)	
Transport hazard class(es)		
Class	8	
Subsidiary risk	-	

Label(s)	8
Packing group	II
Environmental hazards	No.
ERG Code	8L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
IMDG	
UN number	3267
UN proper shipping name	Corrosive liquid, basic, organic, n.o.s. (3-Aminopropyltriethoxysilane)
Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary risk	-
Packing group	II
Environmental hazards	
Marine pollutant	No.
EmS	F-A, S-B
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	該当しない。
国内規制	国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則

腐食性物質

航空法・施行規則

腐食性物質

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

エチルアルコール

Z類

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

IdeaPaint は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。